

大熊町および大熊ダイヤモンドデバイス株式会社、

企業立地に関する基本協定を締結



令和6年10月31日

福島県大熊町

大熊ダイヤモンドデバイス株式会社

福島県大熊町（以下、大熊町）と大熊ダイヤモンドデバイス株式会社は、「企業立地に関する基本協定」（以下、本協定）を本日締結いたしました。

1. 背景・趣旨

大熊町は、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により全町民が町外へ避難しておりましたが、平成31年4月に中屋敷・大川原地区、令和4年6月30日にJR大野駅を中心とした市街地を含む特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されました。これを受けて、下野上地区復興拠点に中央産業拠点等を整備し、かつての賑わいを取り戻すべく、町内における雇用創出と働く場所・働き方の選択肢を整えております。

大熊ダイヤモンドデバイス株式会社は、「東日本大震災という国難を通じて産まれた技術」であるダイヤモンド半導体の社会実装を担う企業です。ダイヤモンド半導体は、既存半導体に比べて高周波特性や大電力効率、放熱性等に大幅に優れ、次世代通信技術「6G」の実現に不可欠とも言われています。また、高放射線や高温/低温といった極度環境下でも正常に動作可能なデバイスとして、福島第一原子力発電所の廃炉計画に加え、他原発や宇宙開発への応用が期待されております。

この度、大熊中央産業拠点（福島県双葉郡大熊町大字下野上）に、大熊ダイヤモンドデバイス株式会社の工場の立地が決定したことから、大熊町と大熊ダイヤモンドデバイス株式会社との間で、本協定を締結いたしました。

2. 本協定の内容・目的

本協定は、大熊町と大熊ダイヤモンドデバイス株式会社が大熊中央産業拠点に拠点等を設けることについて合意するものです。併せて、両者が相互により密接な連携を図り、基本的な事項を定めることにより、立地計画を円滑に促進することとともに、地域の活性化など、地域の諸課題に迅速かつ的確に対応することを目的としております。

3. 大熊中央産業拠点での事業内容

大熊ダイヤモンドデバイス株式会社は、ダイヤモンド半導体を垂直統合的に研究開発から製造まで担う企業であり、大熊町に世界初となるダイヤモンド半導体工場を建設します。工場は令和6年度中に建設を開始、令和8年度には稼動を予定しており、ダイヤモンド半導体の商用化を目指します。

本事業は、自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金（製造・サービス業等立地支援事業）の対象として、経済産業省により採択されたものです。

4. 計画概要

立地場所	福島県双葉郡大熊町大字下野上字原 特定復興再生拠点区域内 大熊中央産業拠点
敷地面積	6,361.21 m ²
事業内容	ダイヤモンド半導体の研究開発、製造
雇用計画	20人（予定）
施設着工	令和6年度中（予定）
操業開始	令和8年度中（予定）

5. 大熊ダイヤモンドデバイス株式会社の概要

社名	大熊ダイヤモンドデバイス株式会社
代表取締役	星川 尚久
本社所在地	札幌市北区北21条西12丁目2北大ビジネススプリング
事業内容	ダイヤモンド半導体の研究開発・製造

大熊町および大熊ダイヤモンドデバイス株式会社は、今後もより一層連携を深め、さらなる地域の活性化や産業振興に取り組んでまいります。

以上